



PLAY PARK —宝ヶ池公園—

NEWS LETTER 2010



写真：通称トトロのトンネル（宝が池）

新緑の季節となりました。3月の終わりから咲き始めた桜と、コバノミツバツツジに彩られた宝が池は、たくさんの人で賑わいました。朝には鳥の声が聞こえてきます。虫やトカゲ、カエルも目を覚ましたかな？ コバミツ、ウワミズザクラ、コバノガマズミ・・・週ごとに咲く花々を楽しめる季節です。



EVENT Report

4月11日(日) 会場：梅小路公園『緑の館』
第1回 プレイパーク交流フォーラム



近畿を中心に、プレイパークや、子どものあそびや自然の中での学びをサポートする活動を展開するグループが集い、交流する機会として「交流フォーラム」を開催しよう！ということで1年ほど前から企画してきました。

各所でがんばっている活動紹介を聞いたのち、参加者全員によるグループワークショップによる意見交換を実施！プレイパークをはじめ、子どもの外あそび活動について語り合いました。



午前中のプレイパーク体験で楽しみつつ親交を深め、午後からは、元来の「プレイパーク」にこだわらず、子どもが生き生き遊べる環境を

▲なわばしごに遊び！「地域でささええる」

という視点から活動紹介をおねがいしました。

会下山プレイパーク代表・大阪教育大准教授の手取氏より、地域の団体や行政とのコラボレーションなど地域とのつながりの工夫の話題から、活動資金確保の問題、次世代へのつながりなどの、悩みや課題といった話題提供をいただき、それを受け、「3つの事例」および「梅小路&宝が池」の様子も発表していただきました。様々な形や理念で運営されているプレイパークの実情を知ることができ、今後の運営のヒントも多く得られたとおもいます。

その後のワークショップでは、「郊外のプレイパーク」「里山のプレイパーク」「街中のプレイパーク」と場所ごとにテーマ別に別れ、現状抱えている問題点を出し合い、解決のヒントを話し合いました。短い時間でしたが、多くの意見が活発に飛び交う熱気に満ちたワークショップとなりました。

行政との協働について、運営資金とシステム、プレイリーダーの役割とは、自主性と継



▲発表の様子



続性をはぐくむには・・・、安全管理と責任、フィールドの管理、遊具の存在・・・

普段プレイパークに関わりながら抱いていた問題や疑問を共有しあえたことや、これだけ多くの人がプレイパークに関わり、真剣に考えているのだと感じられたことは、今後の活動への大きなモチベーションへつなげることができました。



▲子どもコーナーは好評でした。

▲会下山プレイパークのパネル



▲宝が池のパネルも発表しました



全体の感想 複数回答

もっとワークショップの時間を多くとってほしいとの意見が多く出ていました。

今後に期待すること（一部抜粋）

- もっとプレイパークがあたりまえになって増えること
- 皆さんのパワーをもらい、ちょっと休止していたぶれーパーク活動をやりたいなと思うようになりました。
- ブレーパーク、ブレーリーダーの社会的保障
- 他のプレイパークを参考にこれから活動したい。
- 今後もこのようなつながる機会があるとうれしいです。
- フォーラムの内容やタイムスケジュールも事前にわかると都合がつけやすいです。
- 里山活動はプレイパークと重複する部分が多いので参考になりました。

《発表グループ》

★(話題提供) 会下山プレイパーク(愛知県)

★天白プレイパーク(名古屋市)

毎日開催！保護者の会費がささえています。
自作ビデオで紹介いただきました。

★やぶこぎ探検隊(大津市北部の里山)

里山管理・森林再生を主体に子どもたちと一緒に楽しんでいます(不定期)

★椋川キャンプ(近江八幡市・環境レカーズ)

地域の資源を生かして、世代・広域交流、生活体験が魅力です

★梅小路プレイパーク

学生たちが中心になっていろいろな遊びを楽しむプレイパークです

★宝が池プレイパーク

雑木林や水辺環境をいかして、あそびと環境学習を織り交ぜて運営しています。



通常プレイパーク開催報告

日曜・祝日開催 am10:00オープン

3月

07(sun)

14(sun)

21(sun)

28(sun)

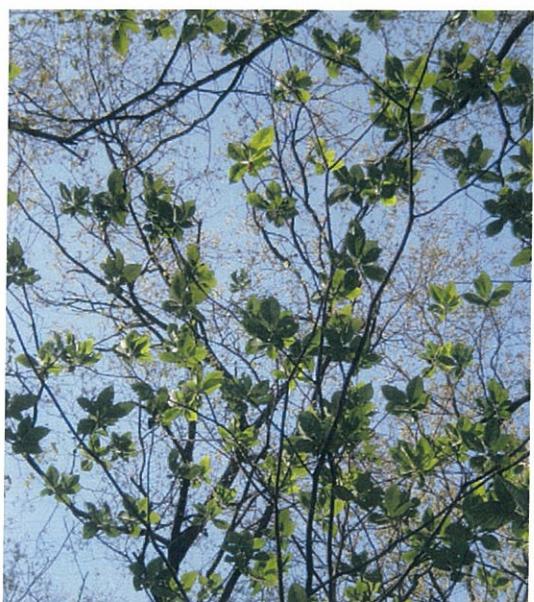
4月

04(sun)

18(sun)

25(sun)

● ● The Environment Report ● ●
4月の宝ヶ池の様子



気温が平年より低い日が続き、雨天の日も多い月でしたが、開催日は好天に恵まれました。

新緑から花が咲き、緑が濃くなる時期。宝ヶ池を代表するコバノミツバツツジの開花は例年よりも一週間ほどは早く、木々の新芽が非常に美しく、多くの野鳥のさえずりが確認できる季節となりました。

トビはやはり近くで営巣しているようです。今年は設置した巣箱でのカラ類が繁殖するといいですね。

水鉢の花が発芽・成長を始め、水生昆虫も見られるようになりました。ハチやマムシへの注意が必要な季節となっていましたね。



今年は、林縁の枯れ木などの伐採で、葉がしげる時期となっても、広場からの森への見通しがすいぶんよくなりました。これから良好な樹林空間を育成していきたいですね。



新芽の季節。様々な稚樹がみられるようになりました。チューリップの球根も成長しました。

自然あそび教室開催報告

開催 pm1:00オープン

自然あそびくらぶ
ロープワークと冬のクラフト

▲おしゃべりしながらクラフト作業

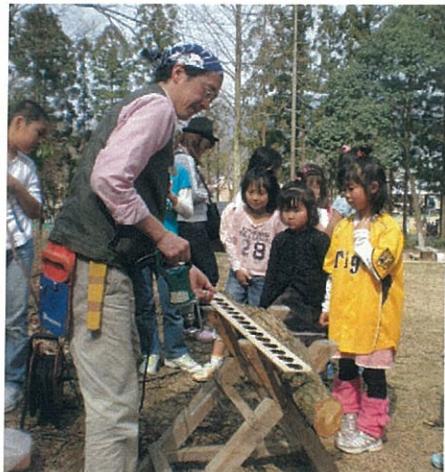
寒い上に雨・・・今日は誰もこないだろ
うなあと思っていたのに、いつもの常連
ちゃんたちが集まってくれました。
ロープの結び方を練習した後は、スギ木
材で思い思いのクラフト作業。ほっこり
した山小屋気分に、メンバー同士もすっ
かりうちとけて、仲良しになりました。
輪切りにしてあるスギ材の皮を剥いたり、
ヤスリを掛けたり・・・。何ができるあ
るのかな?と思って見ていると・・・「手え
切った~」と女の子。消毒して絆創膏を
を貼ってあげていると「早くして~作業

3/6 (sat)

があるの~!」・・・根性あるなあ(笑)
夕方近くなつて雨が上がると、子どもた
ちはさっさと外へ。森の中の少し高台に
なっている所で悪ガキボーグがなにやら
相談中・・・。どうやら新しい秘密基
地の場所探しをして
いたみたいで「本格
的な秘密基地をつく
るんだ~!」だって。
言ったら秘密にな
らないのに・・・。



▲秘密じゃない基地の場所探し中

自然あそびくらぶ
しいたけの菌うち体験

お天氣にも恵まれた
この日は、しいたけの菌うち体験です。
まずは、きのこがどのようにしてできるのか、古い木に生え
たきのこを観察しながらお勉強。はがし
た樹皮の下いっぱいに広がった菌糸にみ
んな興味津々。
いよいよ菌うち! まだ木は2月に伐採して
あったコナラなどを利用しました。ド
リルで穴をあけて、シイタケ菌のついた
杭を差し込んで木槌でトントントン・・・。
ちょっと大きい子は、電動ドリルでの穴

3/20 (sat)

あけにも挑戦していました。
菌うちは、小さい子でも出来る作業なので、見えていても安心。お父さんやお母さんも、「なつかし~」と言って楽しんでくれたみたいでした。

しいたけは、収穫
できるまで一年半ぐ
らいかかります。今
から来年の秋を心
待ちにしたいとお
もいます(笑)



▲木槌でとんとん

自然あそびくらぶ
スギの皮で布を染めてみよう!

今回の草木染はスギ皮です。2月に伐採したスギは、皮を剥いて中の幹材は建材として、大きく向かた皮は屋根材として利用しますが、残った小さな杉皮が余ってしまうので、草木染で布を染めることにしました。
ゆっくりと煮出してから、布を入れ、鉄や銅で焙煎して染料を定着させます。
スギ材は、ちょっと鉄分が多いのかな?
全体にグレーがかかった色にしあがりまし

3/27 (sat)

た。特に、鉄焙煎はシルバーがかかったグ
レーでなかなかオツな色。
参加してくれた子
ども達も、絞りの
中にどんぐりや、
スギ、小石など色々
なものを入れてど
んな形に染まるの
か試していました。





自然あそび教室 特別プログラム ツツジにそまる宝ヶ池ハイキング

例年よりも気温の高い今シーズン。コバノミツバツツジの開花も早そうなので、急遽10日の予定を一週間繰り上げた3日にもハイキングに行ってきました。

急な変更だったので、参加者もあまりいないかな・・・？と思っていたが、人数もそれなりに揃い、出発！

コバノミツバツツジはちょうど開花を始めたところで、鮮やかなピンクで覆わ

れた宝が池の山はとても美しく、見ごろの桜と共に春の訪れを感じさせてくれました。

お天気も上場で、子ども達もおおはしゃぎ。

観察用のルーペを手に、コバノミツバツツジの花やセミの抜け殻、きのこや鳥の羽をひろいながら頂上をめざします。山の岩場を一人が登ると、「僕も登れる！」と次々とチャレンジ。

頂上につくころにはみんな汗だくでしたが、京都の町

を一望できるポイントにつくと、疲れをわすれてのんびり～。

ふと下をみると、下でお花見している人が手を振ってくれました。一人が振ると、大勢が手を振り返す・・・子どもの頃の遠足を思い出しちゃいました（笑）10日のハイキングでもコバノミツバツツジはきれいに咲いていました。案外花期が長いんですね～。春の風とぽかぽか天気でほのぼのとしたハイキングとなりました。

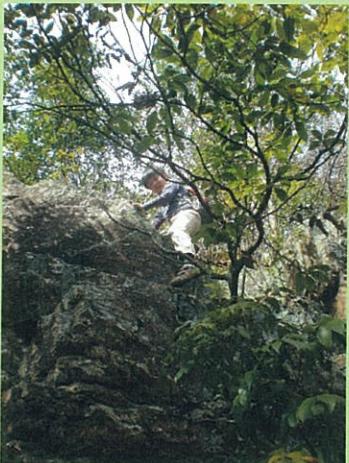
4/3,



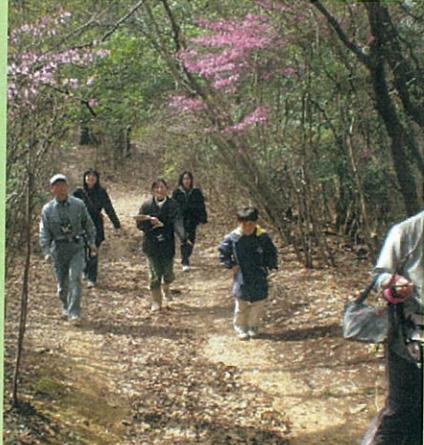
天気：晴れ
気温：13°C
スタッフ：5名
人数：18名

4/10,

天気：晴れ
気温：18°C
スタッフ：5名
人数：16名



▲ガケに登っておおはしゃぎ



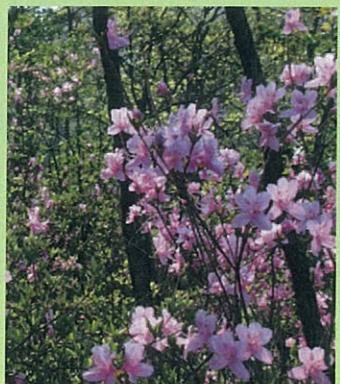
▲天気に恵まれたのんびりハイキングでした



▲いいもの発見！！



▲ミシシッピアオウミガメ。
外来種です・・・。



▲一面に咲いたコバノミツバツツジ

SPECIAL PROGRAM

自然あそびくらぶ 野鳥観察会

4/17 天気：曇りのち晴れ 15°C
(sat) スタッフ：4名
参加人数：23名



▲これ、ウワミズザクラの花だよ～

暖かい春日和のこの日は、鳥の観察会です。冬に取り付けた巣箱には残念ながら小鳥は入っていませんでしたが、夏の渡り鳥や、桜に集まるヒヨドリなどの春らしい自然を観察することができました。

コバノミツバツツジの花蜜を吸った男の子が「あま~い！」というと、みんな一斉に石垣の上に登って花の蜜を吸いにいきます。春の気持ちのいい天気のせいか、男の子達

はおお騒ぎで、小さなコバノミツバツツジを抜いてしまい、かなごんに怒られるアクシデントも・・・。まあ、怒られながら学んでいくものですからね。（笑）

この日観察できた鳥
トビ・カラス・モズ・ツグミ・アオサギ・
カルガモ・マガモ・オシドリ・メジロ・
シジュウカラ・コゲラ・ヒヨドリ・セ
グロセキレイ・ドバト・ウグイス・カ
ワウ（全16種）



▲オドリソウ



▲花の蜜を求めて・・・



▲川にはカモが。



▲どんぐりに根が！

■ INFORMATION

5月の予定

通常プレイパーク

5月 4, 5, 9, 16, 23, 30日 (日)
 ※4日は今年で45回目を迎える『ちびっこまつり』を開催!
 3つの大学が連携して運営します。終日、ゲームやマーブリング、スライムづくりなどがたのしめます。

自然あそび教室

■5月1日 (土)

「豊穴式住居づくりに挑戦!」

(財) 京都市埋蔵文化財研究所 共同企画
 本格的な古代の住居づくりに挑戦します。
 GWの一日、ゆっくりと時間をかけて
 たのしみましょう。
 ※長袖、長ズボン、くつした、運動靴で。
 飲み物・昼食も持参ください

※自然あそび教室は、予約が必要な場合があります。詳しくは宝ヶ池ブログ (http://www.kyoto-ga.jp/takaragaike_park/) または、宝ヶ池運営事務局 (TEL 075-352-2500/担当野田・小川) までお問い合わせください。

5月						
sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
					1	
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

■ 通常プレイパーク開催日 ■ 自然遊び教室開催日

古代の生活体験プログラム スタート!!

(財) 京都市埋蔵文化財研究所 (<http://www.kyoto-arc.or.jp/>) の皆さんのご協力のもと、古代の生活体験プログラムが今年度からスタートします。

5月の豊穴式住居の復元のほかにも、縄文土器をつくったり、あんぎん編みをしたり。火起こし体験や稻づくりにも挑戦したいと思っています。季節ごとの古代の人たちの生活を体験しながら、私たちがどれだけ自然の恵みを受け、共にくらしていたかを、楽しみながら肌で感じられるといいなあ・・・と思っています。乞うご期待!!!



子供たちと一緒に遊んでくれるブレイリーダーや、自然遊び教室の運営をサポートしてくれるボランティアスタッフを募集しています。

中学生以上ならどなたでもOK!
 当日の昼食は支給します。
 ボランティア保険に加入いたします。

直接プレイパークにお越しいただくか、宝ヶ池運営事務局までお問い合わせください。



編 集 後 記



VOICE
みんなの声

寄付や貸出をお待ちしています!

- 家の書棚で眠っている絵本
- 季節の飾り物、イベントグッズ
- あそび道具および、作るための材料
- 屋外用の物置棚
- 昔の道具（農具、民具）、わら（カヤ）

使わなくなったもので、これはどうだろう?と思うものがあれば、ご一報ください。

こんな情報を集めています!

- 宝ヶ池付近の歴史、農業、云われ
- 大文字の送り火とのかかわり
- 宝ヶ池付近のいきもの情報（今・昔）
- 簡単な遊具の作り方 などなど

ちょっと役立つ
豆知識

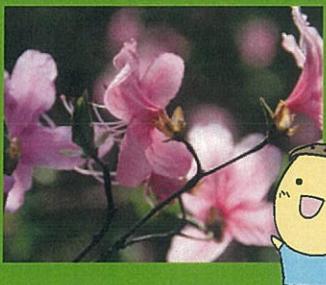
Vol. 4

コバノミツバツツジ

Rhododendron reticulatum
ツツジ科 ツツジ属

高さ2~3m程になる落葉低木。本州中部以西から九州まで分布し、特にアカマツ・コナラ林などの2次林でよく見られる。茎端から3枚の葉が出る。ミツバツツジに比べて、葉が多少小さい。3~4月頃に紅紫色~淡紫色の花が多数咲く。花は直径約3cmで、花粉が細い糸でつながった構造をしており、昆虫の体に付着しやすくなっている。

宝ヶ池には、アカマツと共に多く自生しており、花期には山を美しく彩る。



REQUEST
ご協力のお願い